

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2023年11月）議事録

日 時：2023年11月9日(木) 午前8時00分～10時00分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：永富良一理事長

出席者：永富良一理事長，内藤久士副理事長，  
小熊祐子副理事長，中田由夫常務理事，  
赤間高雄，井上 茂，岡 浩一郎，甲斐裕子，  
勝川史憲，後藤勝正，下光輝一，須永美歌子，  
竹森 重，田畑 泉，田村好史，成田和穂，  
浜岡隆文，檜垣靖樹，前田清司，町田修一，  
宮地元彦各理事，家光素行，石井好二郎各監事，  
山津幸司第78回大会実行委員長

欠席者：内藤義彦，中里浩一，宮川俊平，  
宮下政司各理事，清田 寛，小林康孝各監事，  
松山郁夫第78回大会長

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には，自動的に承認されることにした。

#### 2. 定款改定について（井上総務委員長）

井上総務委員長より，今後の定款改定の議決を現実的に行いやすくするため，定款のうち，社員総会における議決は全正会員によって行われることを定めている箇所について，評議員をもって総会議決権のある社員とすることとし，全評議員による議決へと変更することが提案された。なお，前回の理事会で，定款改定により学生会員の会員種別を創設する方針が示されていたが，学生の学会参加の促進は大会参加費の優遇などによって行うこととし，会員種別に関する定款改定は見送りとすることが報告された。永富理事長より，今回の定款改定は，環境の変化に応じた定款の整備が行える体制を整えることが目的である旨が説明された。提案を受けて，今回の定款改定に伴い評議員の役割が変化することに関連して，現状当学会の活動に対して必ずしも積極的でない評議員も一定数いること，また，地域のバランスをはじめとして評議員選考の際の一層の配慮が求められるのではないかとの意見が各理事より出された。審議の結果，定款改定の方針について承認された。

#### 3. 各種委員会の分掌と今期の取り組みについて（井上総務委員長）

各種委員会委員長より資料に基づき，各委員会の分掌と今期の主な取り組み，委員会構成員について報告され，承認された。委員会構成員の変更は各委員会で適宜行い，直近の理事会で報告することとした。

#### 4. シニア会員候補者について（井上総務委員長）

井上総務委員長より資料に基づき，シニア会員の申請資格対象者が報告され，審議の結果，承認された。例年同様，事務局から候補者へ「シニア会員のご案内」を送付することとなった。関連して，名誉会員の推薦も毎年行うべきかどうかについて意見が出されたが，

現状は変更を見送ることとなった。

### 5. その他

#### 1) 議事録について

永富理事長より，理事会で出された意見は，必ずしもその場で審議，承認されたものでなくても，今後の検討のための材料として議事録に残すことが提案された。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

##### 1) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき，「JPFMSM」誌，「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

1. 「JPFMSM」誌，「体力科学」誌の投稿・掲載状況  
<投稿状況>（2023年8月1日～2023年10月25日）

「JPFMSM」誌：新規投稿14編

（内海外1編，特集号3編含む）

※前年同期間：新規投稿8編

10/25現在，審査中9編（特集号1編含む）

「体力科学」誌：新規投稿6編

※前年同期間：新規投稿7編

10/25現在，審査中2編

<掲載予定>

「JPFMSM」誌

○Vol. 12, No. 6（2023年11月25日発行）

Regular Article 1編，

Short Communication 2編

○Vol. 13, No. 1（2024年1月25日発行）

特集号（予定）

○Vol. 13, No. 2（2024年3月25日発行）

Regular Article 3編

○Vol. 13, No. 3（2024年5月25日発行）

Regular Article 1編

「体力科学」誌

○Vol. 72, No. 6（2023年12月1日発行）

原著3編

○Vol. 73, No. 1（2024年2月1日発行）

大会指定演題

○Vol. 73, No. 2（2024年4月1日発行）

原著1編

#### 2. 日本体力医学会特別大会－2023東京シンポジウム－の報告（前田特別大会実行委員長）

前田実行委員長より資料に基づき，日本体力医学会特別大会－2023東京シンポジウム－について，総参加者数は490名であったこと，収支報告は公認会計士による監査終了後に行う予定であることが報告された。

#### 3. 第78回（佐賀）大会の進捗状況

##### （山津第78回大会実行委員長）

山津実行委員長より資料に基づき，第78回大会の準備状況について報告された。町田学術委員長より，発表者が十分なコメントを得られないことから，オンラ

インのみでのポスター発表は行わないほうがよいとの意見が出された。また、早朝や夕方など発表以外の時間帯での企画を行いたい旨、懇親会を開催してほしい旨について要望が出された。

#### 4. その他

1) 日本医学会および日本スポーツ体育健康科学学術連合について

永富理事長より、日本医学会に関して、日本体力医学会からは評議員・医学用語委員会委員として永富理事長、連絡委員として成田理事、医学用語委員会代委員として小熊副理事長がそれぞれ担当につくことが報告された。また、日本スポーツ体育健康科学学術連合関連については宮地理事が担当することが報告された。

## 第36回日本体力医学会北陸地方会大会のご案内

開催日 2024(令和6)年6月9日(日)

#### 日程概要

9:20～ 参加者受付  
 9:50～ 社員総会  
 10:50～11:00 開会挨拶  
 11:00～12:20 特別講演  
 講師：北濃成樹（明治安田厚生事業  
 団体力医学研究所）  
 演題：未定  
 12:20～13:30 昼食休憩・懇親会  
 13:30～15:00 シンポジウム：トップアスリートに  
 対する医科学支援（仮題）  
 15:15～16:15 一般口演（研究発表）  
 16:20～17:00 ポスター発表（研究発表）  
 17:00～17:10 表彰・閉会挨拶

場 所 福井工業大学福井キャンパス  
 2-801, 2-802講義室（予定）  
 〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号  
 Tel: 0776-29-2620

参加申込 「参加申込および一般口演発表申込の要領」を参照の上、大会事務局へ送信下さい。

**参加申込の締切：2024年5月12日(日) 17時**

※本大会は健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新認定講習会として、(公財)健康・体力づくり事業財団へ申請する予定です。また、一般口演において、令和6年12月31日時点で39歳以下の発表筆頭者を対象に『若手優秀研究発表賞』の授与を予定しています。

参加費 1,000円（軽食代を含む。大会当日に受付にて申し受けます）

#### 発表方法

一般口演：発表時間15分（発表10分、討論5分）、MS-PowerPointによるスライド映写の予定。  
 ポスター発表：フリーディスカッション40分の予定。

#### 照会先

大会事務局 辻本典央（つじもとのりお）  
 福井工業大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科  
 E-mail: tsujimoto@fukui-ut.ac.jp  
 〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号  
 Tel: 0776-29-2427

「参加申込および一般口演・ポスター発表申込の要領」  
**【参加申込の要領】申込締切：2024年5月12日(日) 17時**  
 以下のリンクまたはQRコードに掲載する「第36回日本体力医学会北陸地方会大会 参加申込フォーム」をご利用の上、お申し込み下さい。

一旦「参加申込フォーム」を送信した後、参加を取り止める場合は、大会前日の**6月8日(土) 正午12時まで**に大会事務局（tsujimoto@fukui-ut.ac.jp）へ電子メールにてご連絡願います。

リンク：<https://forms.gle/phPpnxAZyy3g838T9>

QRコード：



**【ご依頼】**日本体力医学会本部の会員情報にメールアドレスを登録されていない会員の皆さまへ

北陸地方会の学術大会開催案内、社員総会において承認された新役員名簿、会則・内規等の書類を、今後は電子メールにて配信する予定です。是非メールアドレスの登録をお願いします。

メールアドレス登録の届出は、北陸地方会事務局（山田：yamadat@u-fukui.ac.jp）へご連絡ください。

## 第5回日本体力医学会北九州地方会学術集会のご案内

テーマ：アスリートの健康

～する人・診る人・支える人の視点から～

日時：2024年6月23日(日) 9:30～11:35

会場：オンライン開催 (Zoomによるリアルタイム開催・オンデマンド配信なし)

参加費：無料 本地方会以外の会員および非会員 (大学院生・ゼミ生) も無料で参加可能

会長・進行：飛奈卓郎 (長崎県立大学看護栄養学部)

### 【プログラム】

#### 1. 開会挨拶 (9:30～9:40)

飛奈卓郎 (長崎県立大学看護栄養学部)

#### 2. シンポジウム (9:40～11:35)

チームが栄養士に求めるもの ～長距離女子選手の食事や生活について感じたこと～

演者：森野夏歩 (管理栄養士・元実業団ランナー)

(9:40～10:10)

ジュニアアスリートにおけるスポーツ障害予防の取り組み ～佐賀県女性アスリート健診モデル事業 (FASpro2)～

演者：庄野菜穂子 (西九州大学スポーツ健康福祉学科 教授・医師)

(10:10～10:40)

アスリートにおける鉄欠乏性貧血予防のための栄養戦略

演者：石橋 彩 (東洋大学健康スポーツ科学部栄養科学科 助教・管理栄養士)

(10:40～11:10)

3. 質疑応答・ディスカッション (11:10～11:30)

4. 閉会挨拶 (11:30～11:35)

### 【参加要領】

学術集会にアクセスするURLなどの情報をお送りしますので、事前の参加登録をお願いします。以下のリンクからお申し込みください。

◆参加申し込み：

<https://forms.gle/ErPMeuuhUyR832K19>



◆参加登録期限：2024年6月17日(月) 17:00

※登録期限後、事前にアドレスを送付しますので当日の参加登録はできません

◆お問い合わせ先：tobitaku@sun.ac.jp

長崎県立大学看護栄養学部栄養健康学科運動生理学研究室 飛奈卓郎

## 第92回日本体力医学会中国・四国地方会のご案内

期 日：令和6年6月29日(土)、30日(日)  
 会 場：安田女子大学 9号館3階  
 (〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東6丁目  
 13番1号)

### プログラム

1日目：令和6年6月29日(土)  
 12時50分～13時30分 受付  
 13時00分～13時30分 幹事会  
 13時35分～13時40分 挨拶  
 13時45分～16時00分 研究発表(1)  
 16時15分～17時20分  
 特別講演『クリティカルパワーについて』  
 講師：福場良之先生(県立広島大学 名誉教授)  
 (広島国際大学 特任教授)

17時45分～19時45分  
 情報交換会(安田女子大学 学生食堂まほろば)  
 2日目：令和6年6月30日(日)  
 8時45分～9時00分 受付  
 9時00分～12時00分 研究発表(2)  
 12時00分～12時30分 総会

※演題数により変更になる場合があります。

### ○学会参加・発表演題申し込み

地方会への参加申し込み・演題申し込みは、6月10日(月)【**必着**】にて下記の学会申込フォームを利用して参加申し込みを行ってください。

Googleフォームでの申し込みが難しい場合は、野瀬(下記メールアドレス)までご連絡ください。

学会申込フォーム (Googleフォーム)

<https://forms.gle/BkrcmrrkYGsJCSfA7>



学会参加費：

会 員：1,000円(不課税)

非会員：2,000円(10%消費税込み)

学生、院生：無料

### ○予稿集原稿の提出

6月17日(月)【**必着**】までに、E-mail(Word添付書類)にてご提出ください。

- ・原稿はA4用紙2枚に上下左右の余白を2cm取り、タイトルは18ポイント、所属・氏名・本文は12ポイントで作成してください。
- ・発表者が複数の場合は、演者の前に○印を付けてください。
- ・添付されたWord書類はこちらで印刷します。こちらで若干の修正を加えさせていただく場合がございますのでご了承ください。

学会参加、一般発表、予稿集原稿の送付先、

問い合わせ等

〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東6丁目13番1号  
 安田女子大学家政学部管理栄養学科 野瀬由佳 宛  
 TEL：080-3701-7334

E-mail：nose@yasuda-u.ac.jp

### ○一般発表について

- ・発表時間は10分、質疑応答4分の計14分間とします(演題数によって変更有)。
- ・発表は、パソコンの画面映写とします。プロジェクター、HDMIケーブルは事務局が準備します。
- ・ご自身のパソコンを持ち込まれる場合は、参加申込時にGoogleフォームでお知らせください。HDMIケーブルとご自身のパソコン接続等の作業につきましては発表者ご自身でお願いします。各種変換ケーブルは発表者をご持参ください。また、発表当日の接続確認と試写を必ずお願いいたします。

### ○情報交換会

会場：安田女子大学 まほろば館1階  
 学生食堂まほろば

会費：4,500円(学生・大学院生：3,000円)  
 (10%消費税込み)

会費の支払いは、学会当日受付にてお願いします。  
 手指消毒等、感染対策を行ったうえで実施します。

### ○会場案内

安田女子大学(〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東6丁目13番1号)

お車でもお越し頂けます。大学構内の駐車場がご利用いただけるよう現在申請中です。

正門への道路が狭隘なためご注意ください。

学会は「9号館3階」、情報交換会は「まほろば館1階 学生食堂まほろば」にて開催いたします。

### ○宿泊施設

大学周辺に宿泊施設はございませんが、広島駅や繁華街周辺にはホテルが多数ございます。宿泊の手配は各自でお願いいたします。

### ○健康運動指導士及び健康運動実践指導者の方へ

本学会は、健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として申請予定です。

### ○学会誌「体力科学」への掲載用原稿

学会誌「体力科学」への掲載用原稿は、地方会事務局がとりまとめ、学会誌編集事務局へ送付します。下記の書式に従いE-mailにて7月12日(金)【**必着**】までに地方会事務局へお送りください。なお、筆頭著者が非学会員の場合、抄録掲載料は1演題あたり3,000円(10%消費税込み)となります。

掲載原稿送付先：jspfsm.chu4@gmail.com

(地方会事務局)

(提出原稿書式)

- 1) 原稿の1枚目から演題名、発表者名、所属名、本文の順にお書きください。
- 2) 900字以内になるよう作成してください(演題名、発表者名、所属名、本文を含む)。
- 3) 図表は認められません。

## 公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団「第36回助成研究発表会」及び「ソルト・サイエンス・シンポジウム2024」の開催について

### ○第36回助成研究発表会

- ・開催期日 2024年7月30日(火) 9:30~17:45
- ・開催場所 都市センターホテル  
(東京都千代田区平河町)
- ・参加料は無料
- ・参加申込など詳細は、財団のウェブサイトにて告知  
(6月初旬に掲載予定).

### ○ソルト・サイエンス・シンポジウム2024

1. 開催概要
  - 1) 開催趣旨 塩に関する学術, その他の情報普及
  - 2) 開催日時 2024年10月28日(月)  
13:00~17:00
  - 3) 開催場所 都市センターホテル  
(東京都千代田区平河町)
  - 4) 参加料 無料  
参加の申込みは所定のウェブサイトにて申込
- ・詳細については、財団のウェブサイトをご覧ください (開催1ヶ月前に掲載).

### 2. テーマと講演内容

- 1) シンポジウムテーマと講演内容
  - (1) シンポジウムテーマ:  
「塩味感覚を複眼的に考える」
  - (2) 講演内容 (講演順)
    - ①「塩味の受容メカニズムは、どこまで明らかになったのか」  
講演者: 朝倉富子 放送大学教授  
座長: 松本美鈴 元大妻女子大学大学院教授
    - ②「味覚電気刺激が変える塩味感覚」  
講演者: 中村裕美 東京都市大学准教授  
座長: 松本美鈴 元大妻女子大学大学院教授
    - ③「食品中の匂い成分による食塩摂取量の調節」  
講演者: 長田和実 日本大学教授  
座長: 駒井三千夫 東北大学名誉教授

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団  
(<https://www.saltscience.or.jp>)

Fax: 03-3497-5712 Tel: 03-3497-5711

E-mail: [saltscience@saltscience.or.jp](mailto:saltscience@saltscience.or.jp)

## 編 集 後 記

体力科学73巻3号をお届けします。本号は、原著論文2編、資料1編、JPFISM, Vol. 13, No. 3の抄録（3編）、第6回日本体力医学会南九州地方会抄録、第38回日本体力医学会近畿地方会抄録、第28回日本体力医学会東海地方会抄録で構成されています。さらに、これから開催予定の日本体力医学会北陸地方会大会、北九州地方会学術集会、中国・四国地方会の案内も掲載され、地方会の情報も充実しています。

会員の皆さんは、地方会に参加されていますでしょうか？私は昨年、関東地方会に参加しました。当初の動機は、あまり堂々と言えたものではなく、日本体力医学会全国大会が特別大会となり、一般演題枠がない中、大学院生に学会発表の機会を提供したかったからです。しかし、実際に参加し、全国大会にはない複数のメリットを感じました。今回の関東地方会は、山梨学院大学スポーツ科学部教授の小山勝弘先生が大会長を務められ、同大学で開催されました。まず、ありがたかったのは、私の勤務地である信州大学、松本市から山梨学院大学、甲府市まで、電車で1時間半程度でアクセスでき、宿泊不要、さらに参加費もほとんどなく、参加しやすかった点です。そのお陰で、当教室の社会人大学院生も、仕事との調整がしやすく、本番に臨むことができ、貴重な発表の機会となりました。さらに当日は、一般演題に加えて、特別講演とシンポジウムが企画されており、特別講演では、山梨大学の山縣然太郎先生が「なぜ、山梨は健康長寿日本一なのか」についてお話されました。このテーマは、健康長寿県を標榜する長野県から参加した私にとって、

学術的な面に加えて、近隣地域への対抗意識からも、聞き逃すわけにはいかないと感じました。このように、地方会は、学会に初めて参加する者にとって、全国大会と比較して敷居が低く、発表体験ができるだけでなく、一般参加者にとっても、近隣の大学/研究機関の先生方から、身近な話題を聞くことができる貴重な機会です。

また、主催者側としても、全国大会を企画するのは荷が重すぎるのに対して、地方大会は比較的小規模なため、学会をオーガナイズしやすいと考えます。例えばシンポジウムの規模で言えば、全国大会では30程度も企画する必要があるのに対して、地方会では1企画程度です。さらに、今回の地方会では、企画の合間に、山梨特産のシャインマスカットや桃のジュースまで、参加者にふるまっていたいただき、終始和やかな雰囲気でも、活発な討議が行われました。このような地方会を通じて、学会本部としても、新しい学会員をリクルートできるメリットがあると考えます。

以上が、私の考える地方会の意義です。恥ずかしながら、昨年9月に本誌の編集委員を拝命するまで、何故、地方会が長年開催されてきたのか、踏み込んで考えたことはありませんでした。偉大な先人たちの足跡に思いをよせつつ、微力ながら体力医学の分野の発展に貢献できればと考えております。予定されている地方会、全国大会の盛会を期待するとともに、引き続き、体力科学およびJPFISMへのご投稿をよろしく願いいたします。

増木 静江

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.73, No.3

#### 体 力 科 学 第 73 巻 第 3 号

令和 6 年 5 月 25 日 印 刷  
令和 6 年 6 月 1 日 発 行

編集兼発行者  
発 行 所

編 集 事 務 局

印 刷 所

後 藤 勝 正  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012  
E-mail：jpsfsm@asas-mail.jp  
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL：0235-22-3120 FAX：0235-22-3120  
E-mail：hj-tairyoku@turuin.co.jp  
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社